

暮らしの、新たな原動力へ。



*Next
Driven.*

2025年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

2024.11.08

バンダー化学株式会社

BANDO

Creating New Value for the Future

目次

I. 2025年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

II. 2025年3月期 業績予想

III. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

IV. 参考資料

I . 2025年3月期第2四半期（中間期） 決算概要

2025年3月期第2四半期（中間期）

決算ハイライト

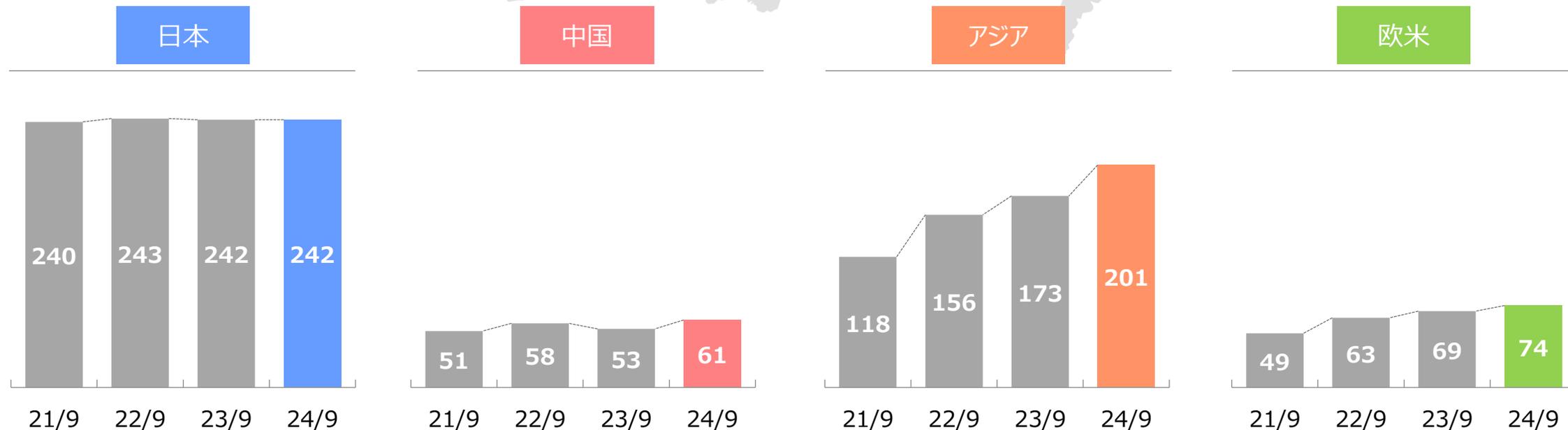
(単位：百万円、%)

	2023/9	2024/9		2025/3		
	実績	実績	前期比	業績予想値	達成率 (対業績予想値)	
売上収益	53,927	58,098	+4,171	110,000	52.8%	
コア営業利益	3,758	4,106	+348	8,200	50.1%	
営業利益	4,515	5,048	+532	9,600	52.6%	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	3,671	3,297	△374	6,500	50.7%	
為替レート	U S D	142.61	152.46	-	145.00	-
	T H B	4.08	4.30	-	4.10	-
	人 民 元	19.88	21.22	-	20.00	-

2025年3月期第2四半期（中間期） 所在地別売上収益



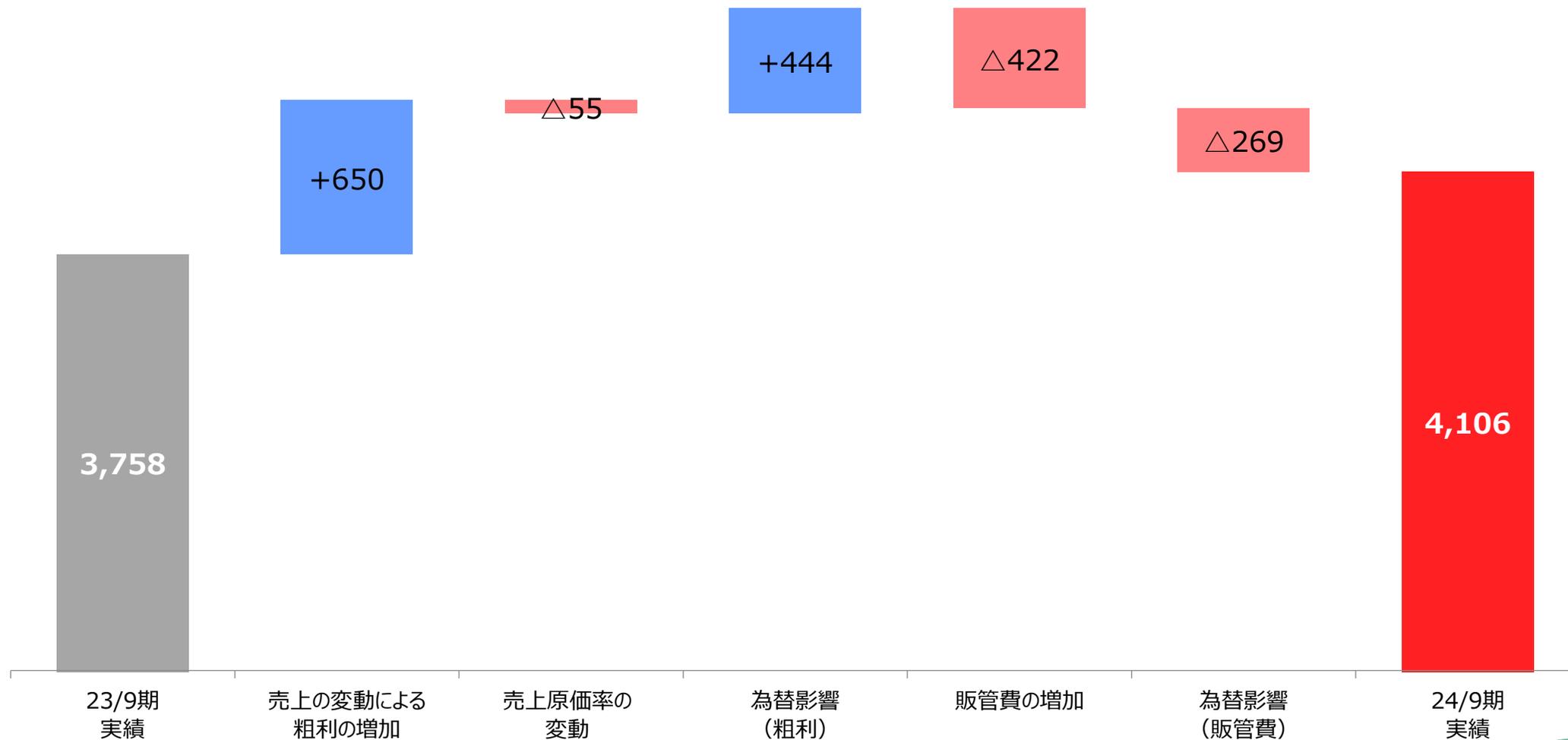
(単位：億円)



(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

2025年3月期第2四半期（中間期） 連結コア営業利益 増減分析

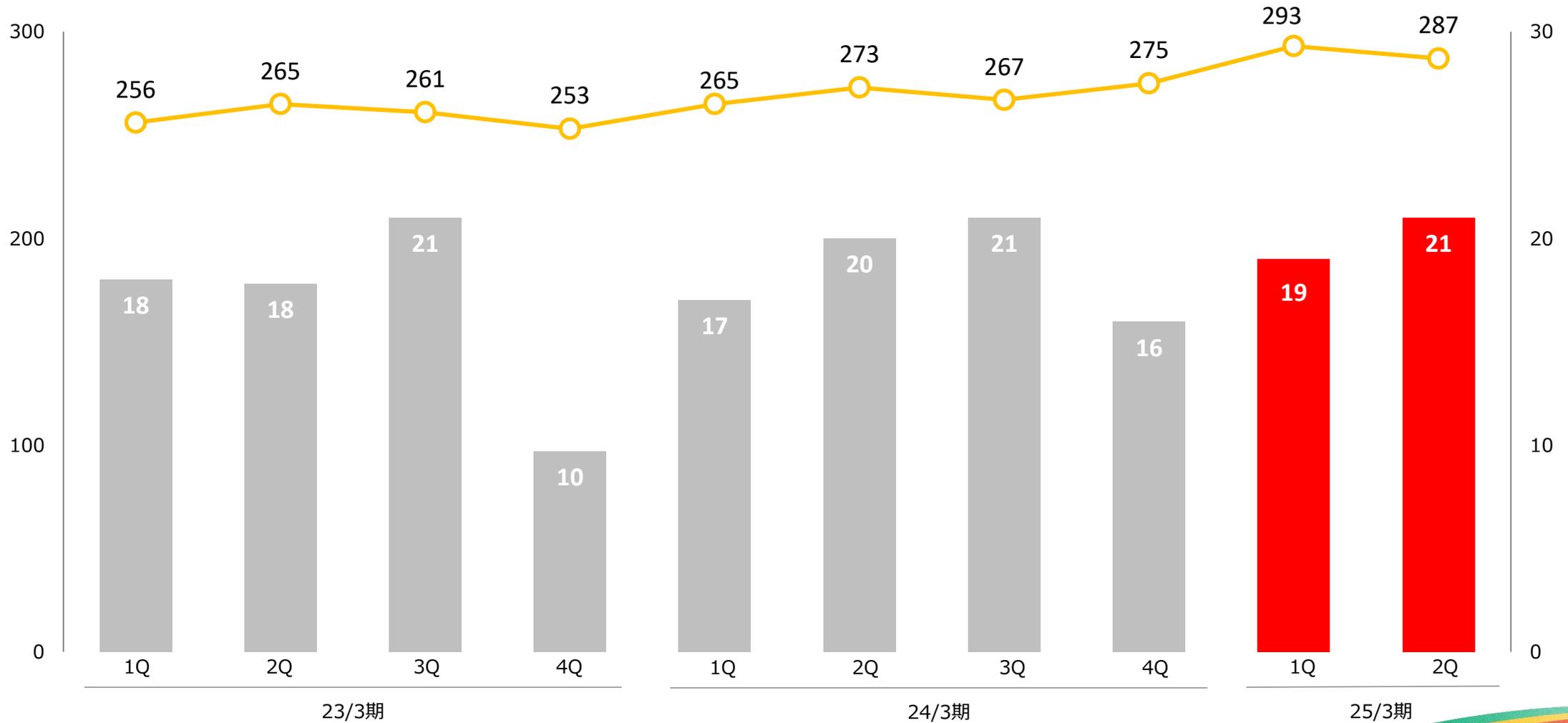
(単位：百万円)



四半期推移 (売上収益/コア営業利益)

(単位：億円)

■ コア営業利益 ○ 売上収益



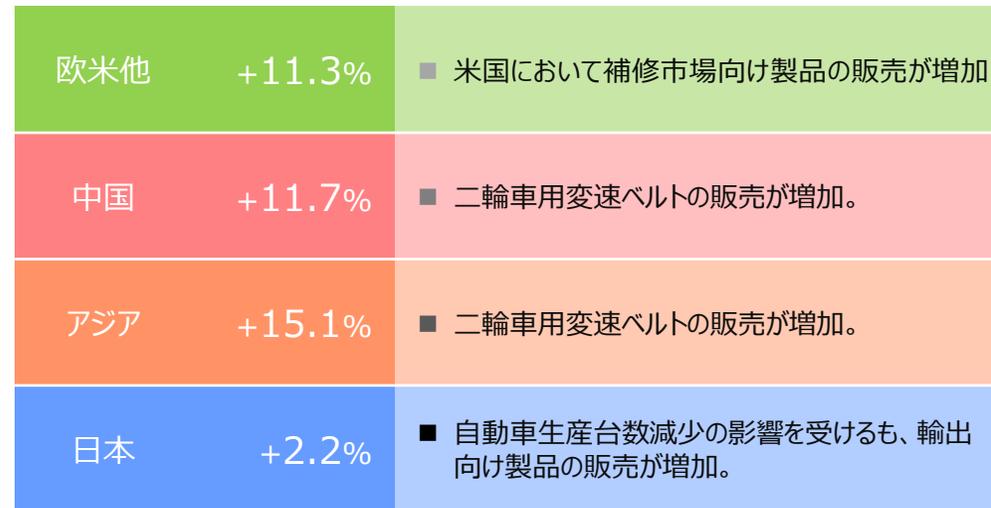
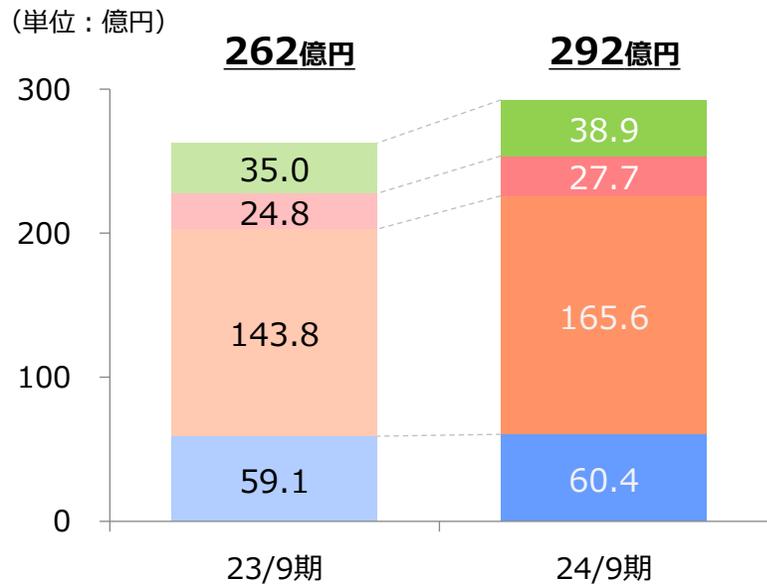
2025年3月期第2四半期（中間期） セグメントの状況

(単位：百万円、%)

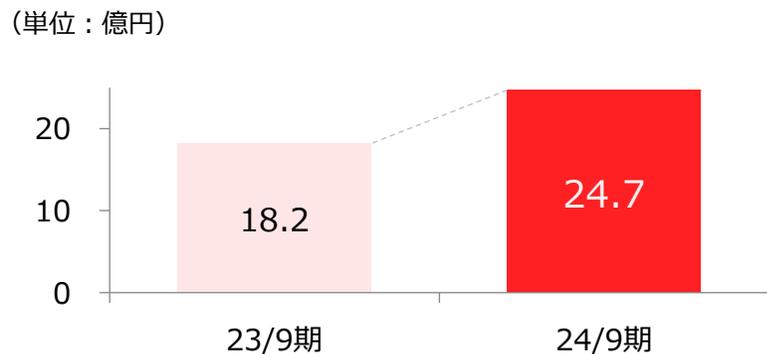
	2023/9	2024/9		
	実績	実績	増減額	増減割合
売上収益	53,927	58,098	+4,171	+7.7%
自動車部品事業	26,270	29,257	+2,987	+11.4%
産業資材事業	18,518	19,267	+749	+4.0%
高機能エラストマー製品事業	6,932	7,070	+138	+2.0%
その他	2,634	2,917	+283	+10.8%
セグメント間消去	△427	△414	+12	-
コア営業利益	3,758	4,106	+348	+9.3%
自動車部品事業	1,820	2,470	+650	+35.7%
産業資材事業	1,896	1,348	△547	△28.9%
高機能エラストマー製品事業	△76	△11	+64	-
その他	△47	164	+211	-
セグメント間消去等	164	134	△29	△18.1%

自動車部品事業 概要

所在地別売上収益



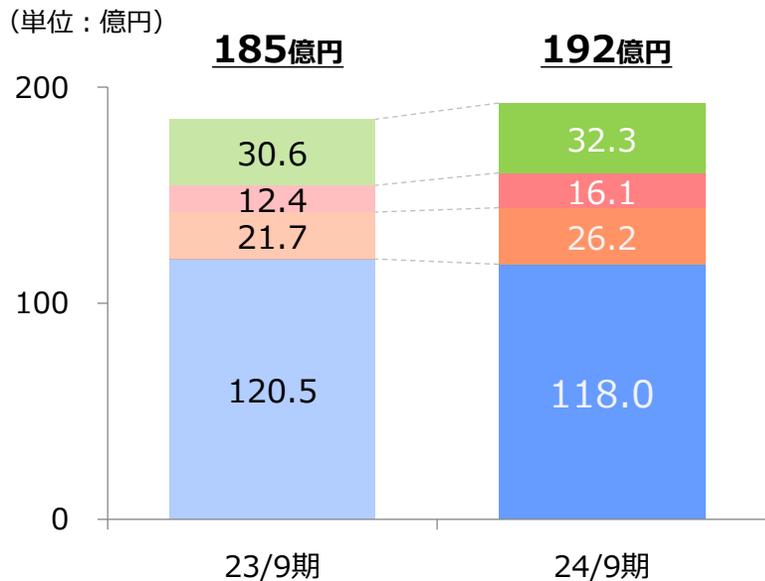
コア営業利益



(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

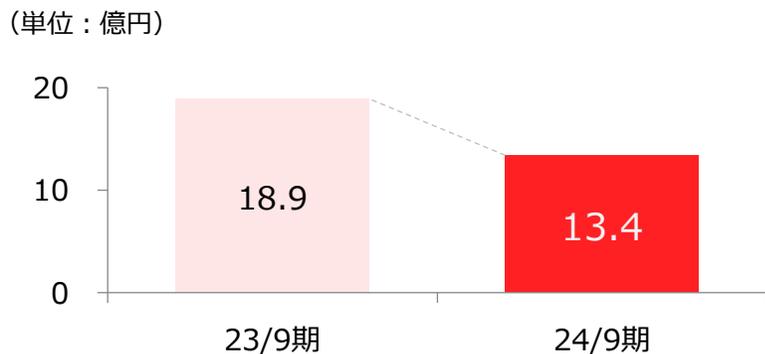
産業資材事業 概要

所在地別売上収益



欧米他	+5.5%	産業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
中国	+30.6%	農業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
アジア	+20.6%	農業機械用伝動ベルトなどの販売が増加。
日本	△2.0%	<ul style="list-style-type: none"> 産業機械用伝動ベルトの販売が前年並みに推移。 樹脂コンベヤベルトの販売が増加するも、コンベヤベルトの販売が減少。

コア営業利益

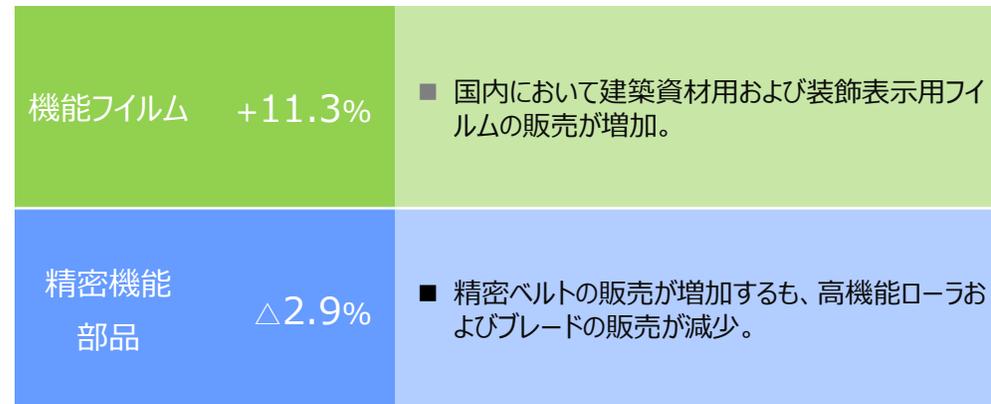
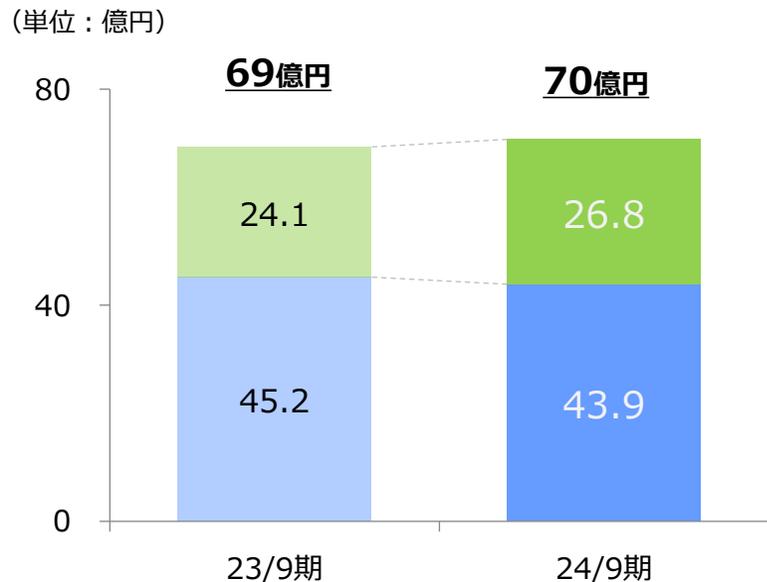


コア営業利益	△28.9%	販売は増加するも、製品構成の変化などにより、利益が減少。
--------	--------	------------------------------

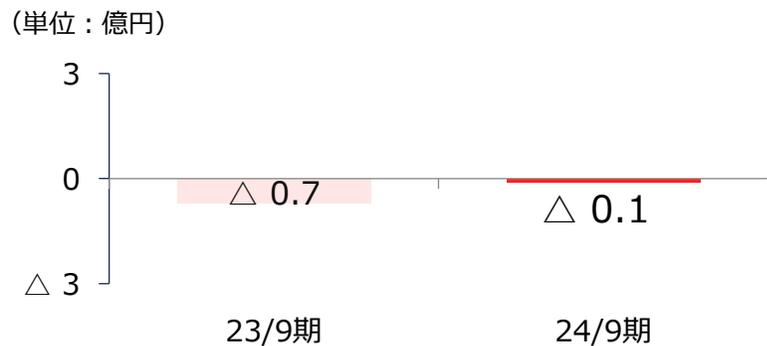
(注)所在地別売上収益はセグメント間取引消去後。

高機能エラストマー製品事業 概要

製品別売上収益



コア営業損失



(注)製品別売上収益はセグメント間取引消去後。

連結財政状態計算書

(単位：億円) **1,256億円**

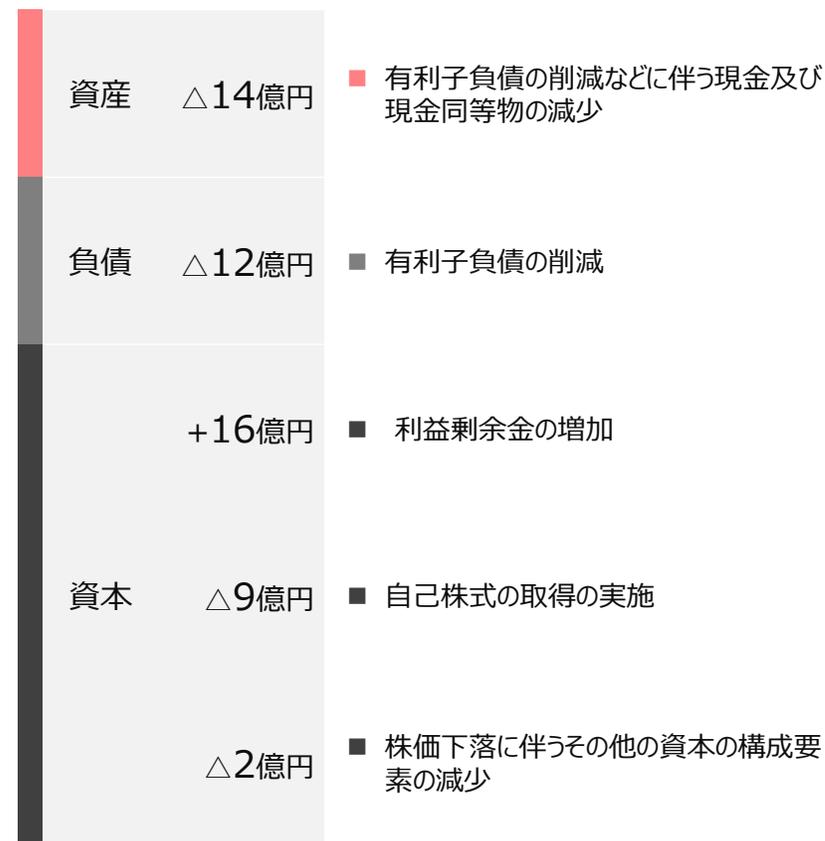


24/3期

1,221億円



24/9期



Ⅱ. 2025年3月期 業績予想

2025年3月期 業績予想

(単位：百万円、%)

	2024/3	2025/3		
	実績	予想	前期比	
売上収益	108,278	110,000	+1,721 +1.6%	
コア営業利益	7,584	8,200	+615 +8.1%	
営業利益	7,772	9,600	+1,827 +23.5%	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	6,180	6,500	+319 +5.2%	
為替レート	U S D	145.31	145.00	- -
	T H B	4.12	4.10	- -
	人 民 元	20.21	20.00	- -

■ 2024年5月15日に公表した業績予想から変更なし。

Ⅲ. 中長期経営計画の取り組み

“Creating New Value for the Future”1stステージ

中長計(Creating New Value for the Future)の全体像

FY2023 ←--- CV-1 ---> FY2026 FY2027 ←--- CV-2 ---> FY2030 FY2050

人と社会を支え、今と未来をつなぐBEST PARTNER

『Creating New Value for the Future』

ビジョン

中長期戦略

指針1	価値創造 「共創」を軸に新規事業の進化とコア事業の深化を加速
指針2	スマートものづくり創造 バンドー夢工場への布石
指針3	未来に向けた組織能力の進化 進化を支える土壌づくり

価値創造 最適な事業ポートフォリオへ
夢工場モデルラインの実現 安全・安心で地球環境にやさしいものづくり
未来に向けた組織能力の進化 進化が連続的に起こっている

共創 新規事業

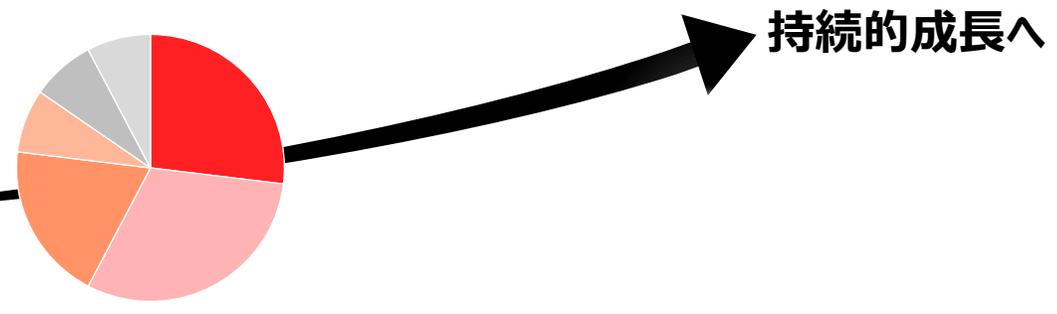
コア事業

バンドー夢工場のグローバル展開
圧倒的競争優位の実現

中長期目標

売上収益	1,200 億円	
コア営業利益	120 億円	
R O E	12%	

非財務指標 CO₂排出量 **38%**削減 (2013年度比)



カーボンニュートラルを実現する

2023年11月に「企業価値（株式価値）の向上に向けて」を公表し、各種取り組みを実施

目標

2027年3月期までにROE12%を達成

- ・ 株主資本コスト（CAPMベース）は7%程度
- ・ 足元のROEは株主資本コスト（CAPMベース）を超過しているが、PBRは1倍を下回っている
- ・ 市場の期待リターンとの間に乖離があると認識し、さらなるROE向上を図る

方針

中計(CV-1)に基づき、収益力の強化と資本効率の向上の両輪で臨む

収益力の強化

- ・ 将来を見据えた事業ポートフォリオ変革の実施
- ・ 事業の収益性・成長性に基づき投資を選別
例) 再構築事業：原則として投資抑制、コア事業：稼ぐ商品に投資を配分、
新規事業：事業拡大に向けて積極的に投資を配分
- ・ 高い品質と稼ぐ力を両立するものづくりの実現：デジタル化、最適生産・最適調達

資本効率の向上

- ・ 株主還元方針の変更などのB/Sマネジメント

企業価値（株式価値）の向上に向けた現状分析

現状

- ① 業績の向上および株価の上昇により、前回公表時よりPBRは改善傾向だが、依然として1倍を下回っている状況
- ② ROEは業績の改善が見られたものの、円安や株価上昇等に伴う資本の積み上がりにより、前年と同水準で推移

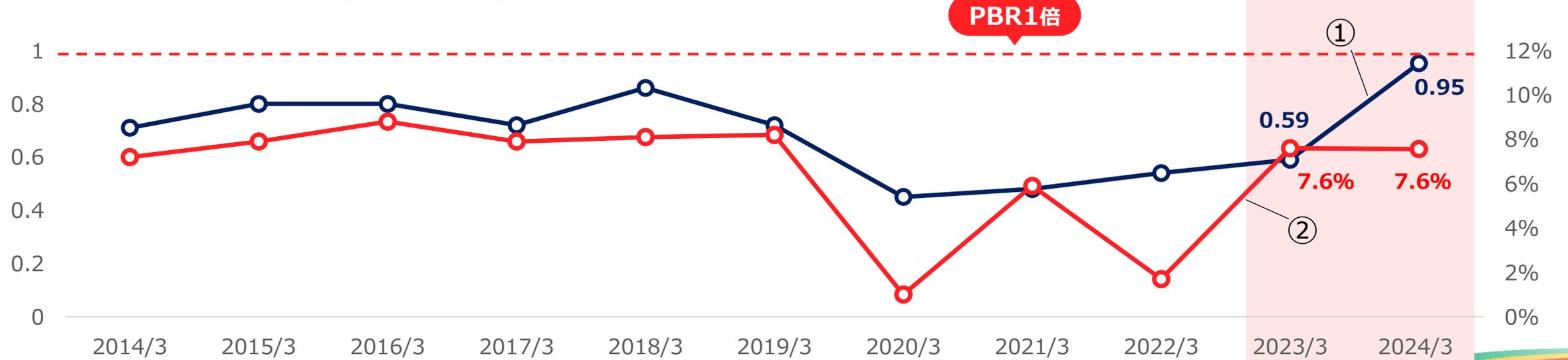
今後の取り組み

PBRの更なる改善に向けて、

- ・収益力の強化
- ・資本効率の向上

により、ROEの向上を図る

PBRとROEの推移



収益力の強化に向けた取り組みの進捗状況

自動車部品事業

パーソナルモビリティ市場への深化

- 高伝動、長寿命を武器に、セルローズナノファイバー(CNF)を適用したダブルコグベルトの販売が一層拡大
- 更なる需要拡大を見据えて、生産設備の増強を検討中



産業資材事業

大型農機市場への拡販

- 海外補修市場において、製品認知度向上に向けた取り組みを推進中
- 中国、欧米を中心に新規代理店の開拓による拡販を目指す



高機能エラストマー製品事業

光学用透明粘着剤 (OCA) 「Free Crystal®」の拡販

- 車載・産業機械用途において、新たな受注、引合いを獲得
- 「厚膜」、「大面積」、「耐UV性」を武器に更なる販売拡大を目指す



新規事業

事業探索・開発スピードの加速

- 2024年3月にinaho株式会社に出資、同社との協業に着手
- 同社が持つ農業ロボット技術とのシナジーにより、アグリテック市場での事業可能性を模索していく



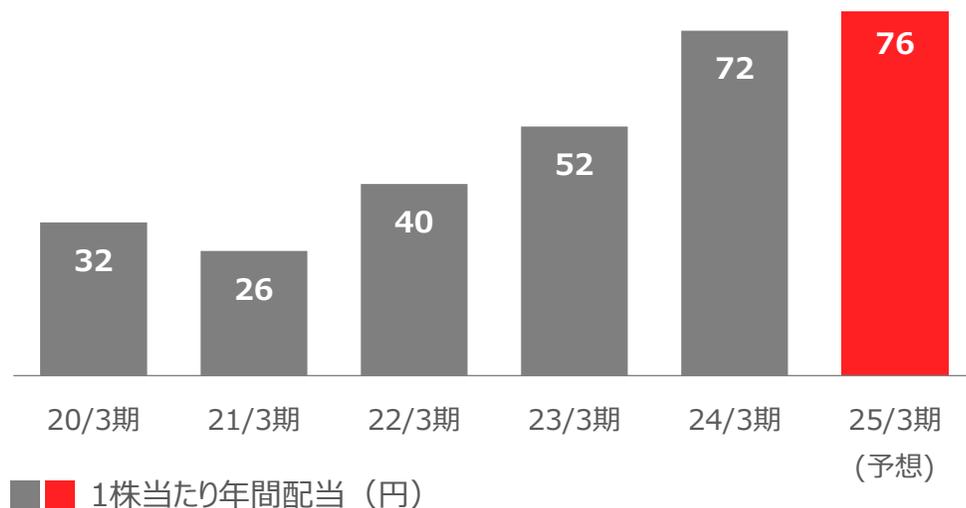
資本効率の向上

- 今期の1株当たり年間配当金は76円（前年度比+4円）を見込む
- 市場買い付けによる自己株式の取得を実施中

取得株式数	150万株（上限）	取得金額	20億円（上限）
取得期間	2024年5月16日～2025年4月30日		

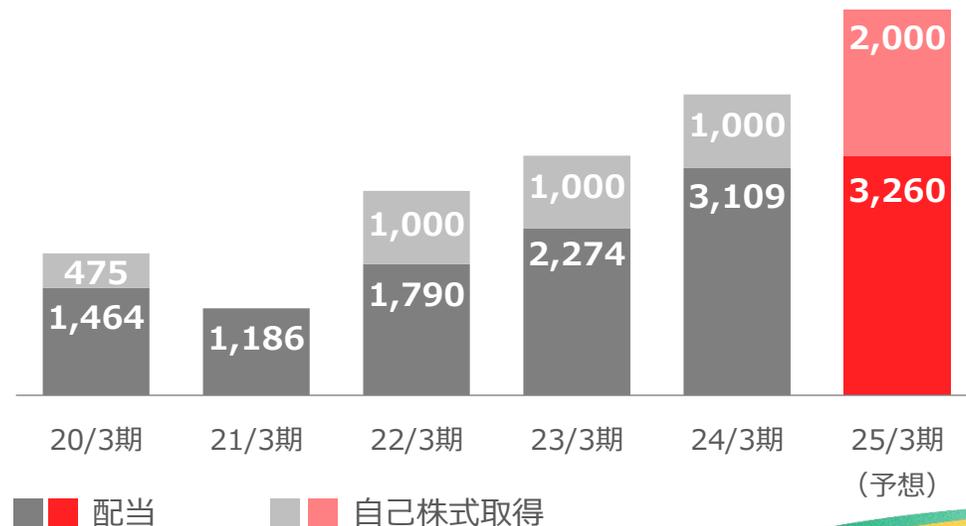
1株当たり年間配当の推移

（単位：円）



株主総還元額の推移

（単位：百万円）



（注）従業員持株ESOP信託および役員報酬
BIP信託への支払配当控除後

株主・投資家との対話状況

対話の主なテーマ・関心事項

- 中長期経営計画における各セグメントの成長性、注力している課題
- EVシフトの変調に対する見解
- 事業ポートフォリオの転換に向けた取り組み
- 新規事業、電動化対応製品の進捗
- PBR改善に向けた施策（ROE向上、株主還元の考え方）

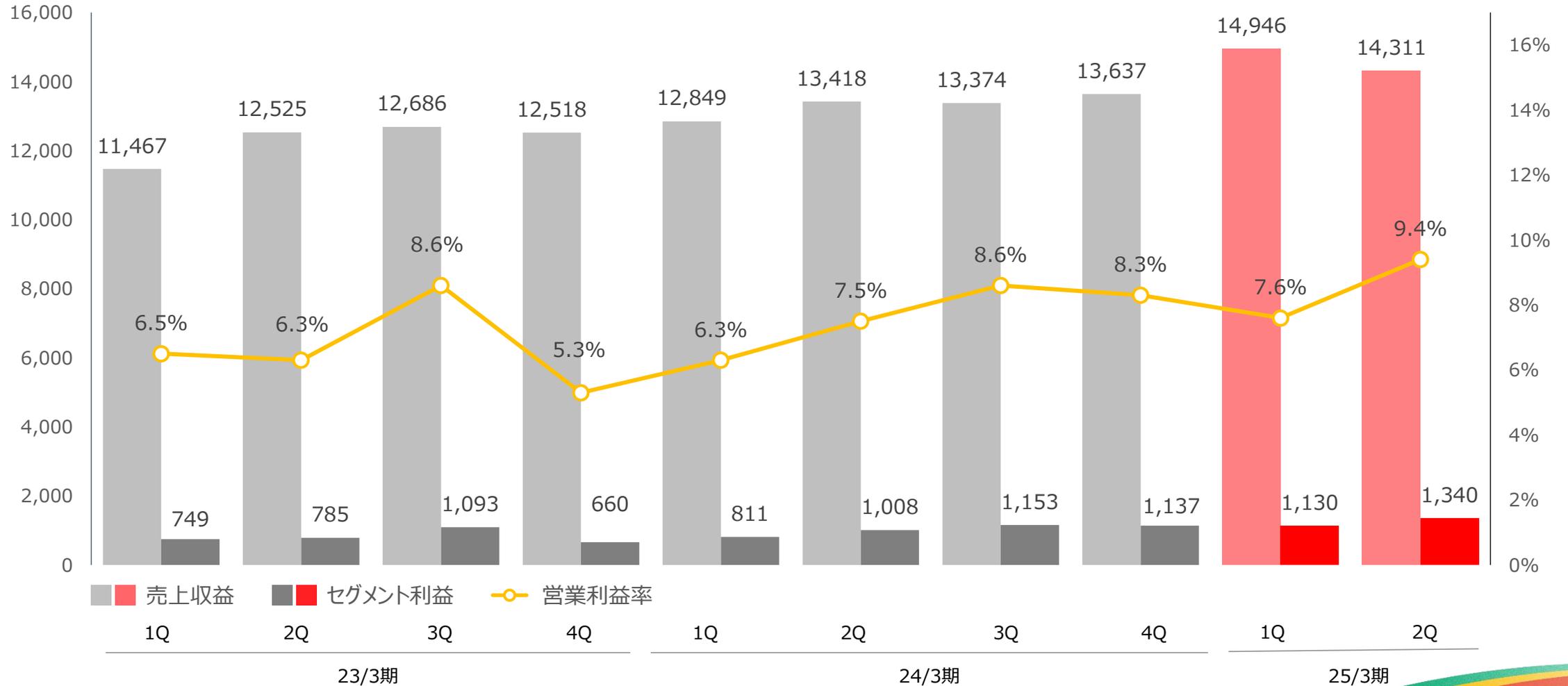
対話機会の拡充

- 工場見学の実施

IV. 参考資料

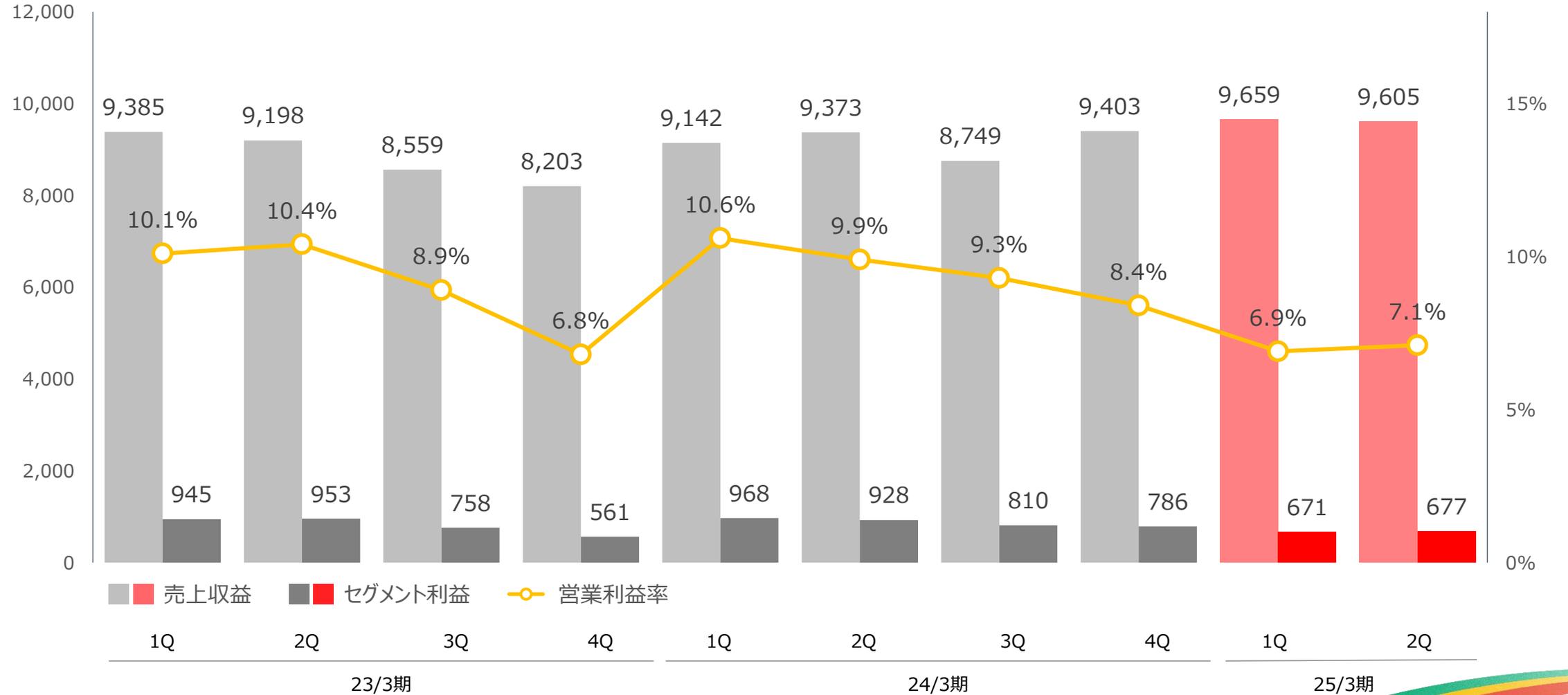
自動車部品事業 四半期推移

(単位：百万円)



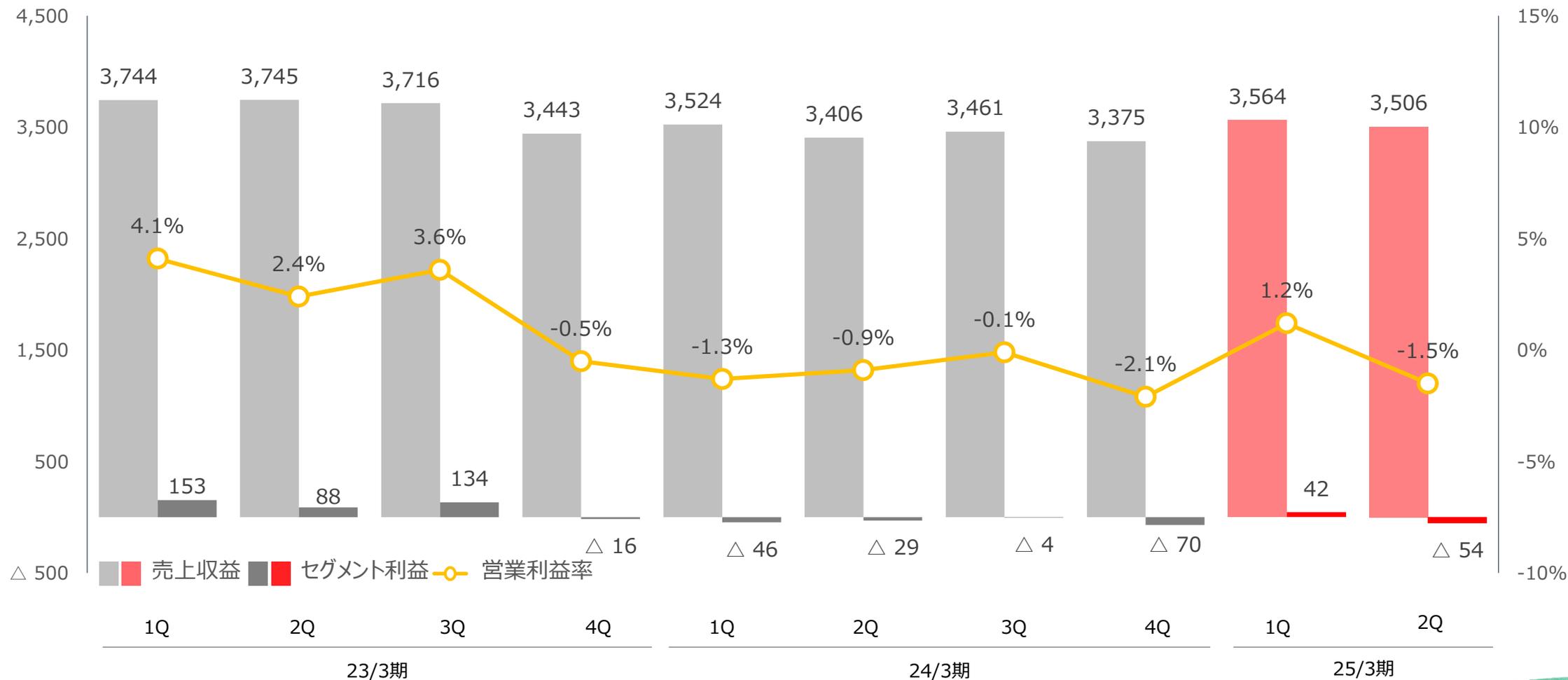
産業資材事業 四半期推移

(単位：百万円)



高機能エラストマー製品事業 四半期推移

(単位：百万円)



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。